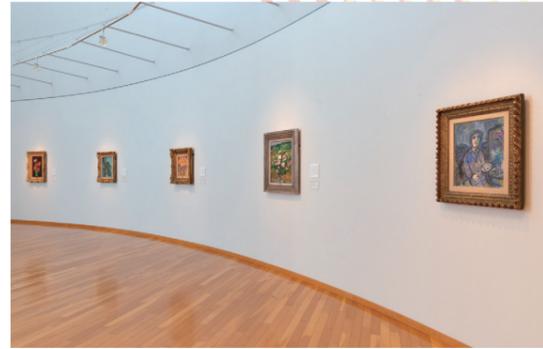


な なた美術館 (潮見町6-11)

ななた美術館では、日本とフランスの近代絵画を多く所蔵。20世紀初頭のパリに集い「エコール・ド・パリ」と呼ばれた個性豊かな異邦人の画家たちや、明るい色彩で花や南仏の港町を描いたフランスの具象画家ポール・アイズピリのほか、小林和作、中村琢二など尾道ゆかりの作家の作品を所蔵し、テーマを設けてさまざまな展覧会を開催しています。また子どもから大人まで楽しめる多彩なワークショップやコンサートなども行っています。



Q. アートってどう楽しむ？

A. 実物の迫力をいっぱい感じてみてください！

今はインターネットでも作品の画像などを見ることができますが、美術館で実際のアート作品を見てみると、思っていたより大きい／小さいといったスケール感を感じてもらえたり、絵具の重ね方やつるつる／ざらざらなど表面の質感を感じたりと、自分の感覚を通して発見できることがたくさんあります。

知識がなくても大丈夫。ふらりと来て、色々な気づきや発見を楽しんでください！



ななた美術館 学芸員 国近 有佑子さん

▲現在開催中のコレクション展「花を描く」(6月6日まで)では、エコール・ド・パリの代表的画家藤田嗣治や、尾道市名誉市民でもある小林和作などが描いた花の絵画を展示。作家ごとに異なる花の表現に注目してみてください。



▶第一展示室に展示されている、バロック時代に盛んに演奏された楽器「チェンバロ」。ピアノのような形ですが、ギターのように細い弦をはじいて音を出します。

東洋と西洋の雰囲気が織り交じるチェンバロが特に印象的でした！西洋の楽器ですが、装飾で描かれた鳥や植物の優美さは、祖国・中国の唐朝らしさを感じます。



ニシダさん 子白ウタさん

ほかにも 尾道のアート情報

毎月、広報おのみちの「芸術・文化」のコーナーでは、各館で開催されている展覧会の内容、会期、料金などを紹介しています。(今月号は22頁に掲載)。ぜひチェックしてみてください。

日常を離れてリラックスするにはアート巡りがもってこいです！



テイさん

平山郁夫美術館
所在地：〒722-2413 尾道市瀬戸田町 200-2
URL : <http://hirayama-museum.or.jp/>
問い合わせ：TEL. 0845-27-3800

ななた美術館
所在地：〒722-0012 尾道市潮見町 6-11
URL : <http://www.nakata-museum.jp/>
問い合わせ：TEL. 0848-20-1218

平 山郁夫美術館 (瀬戸田町沢200-2)

瀬戸田町に生まれ、「私の原点は瀬戸内の風土である」と言った平山郁夫(1930~2009)の作品を、貴重な少年時代の絵画や代表作など、幅広く展示しています。

瀬戸内の海に囲まれて過ごした少年期から、昭和20年8月に広島市で被爆した経験やその後遺症に苦しんだ経験、やがて「仏教伝来」を初めとする平和を願う作品を多く描くことになった晩年期まで、さまざまな平山芸術に触れることができます。



この美術館で初めてシルクロードについて知りました。平山先生の作品は、砂漠やラクガなどオリエンタルなモチーフが多く、日本人らしくない魅力にあふれている印象です。



ニシダさん 穂積さん

▲現在は特別展「瞬間の美 生命の美」を開催中(6月2日まで)。平山郁夫が初夏の奥入瀬渓流に行き感じた、生きる喜びを表現した作品を展示しています。写生旅行先のスケッチも展示されており、完成された作品と見比べることもできます。



▲ミュージアムショップも、シルクロードをモチーフにしたグッズが並びます。



Q. アートって敷居が高そうなイメージ…

A. 作品の解釈はなんでも正解！自分なりの「気づき」を発見しよう。

見えているけれど気が付いていないこと、というのが日常の様々な場面でも多くあると思いますが、作品を鑑賞するときには、その中で「気づくこと」をたくさん見つけてみてください。そしてその場で気づいたことについて話をしてみたり、メモしてみたり。

作品の解釈に正解はありません。「自分はこう感じる」ということを大切に、気づきの違いを楽しんでみてください。



平山郁夫美術館 学芸員 幸野 昌賢さん

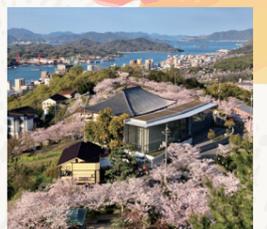
圓鰐勝三彫刻美術館 (御調町高尾220)

御調町出身で文化勲章受章者の彫刻家・圓鰐勝三の作品、コレクションを展示しています。周辺は公園になっていて、散策道には代表的な6体の野外彫刻があり、桜や紅葉など、四季折々の風景と一緒に芸術を楽しめる憩いの場としても親しまれています。



尾道市立美術館 (西土堂町17-19)

世界的な建築家・安藤忠雄により設計された美術館で、名誉市民の洋画家・小林和作を中心に尾道ゆかりの作品を多数所蔵。年数回の特別展のほか市民展など多彩な展覧会を開催。また、2階ロビーから見下ろす尾道水道の絶景も見逃せません。最近では「猫と警備員さん」などを投稿するSNSが大人気で、尾道を訪れるきっかけの一つとなっています。



MOU尾道市立大学美術館 (久保三丁目4-11)

尾道市立大学附属の美術館。学生や卒業生を中心とした、美術を志す若者たちの意欲ある試みや、教員の作品を展示しています。尾道での芸術研究や創作活動の新たな「風」を感じられます。全ての展覧会が無料でご覧いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。



耕三寺博物館 (瀬戸田町瀬戸田553-2)

浄土真宗本願寺派の寺院・耕三寺を母体としながら、その境内を博物館の一部として公開する、全国的にも珍しい形態の博物館です。国の重要文化財や重要美術品を多数含む美術展示のほか、極彩色の堂塔伽藍や、真っ白な大理石庭園・未来心の丘など、他にはない魅力が満載です。

